

和合自治区
保存版

みんなで楽しく未来をつくらう!



しもやまスマイルプラン

あなたの行動が「しもやま」を変える!



WE LOVE しもやま

2021.4 - 2026.3

まちづくりに大切な2つのこと

1 『WE LOVE しもやま』

～下山への愛情と誇りを高める合言葉～
下山には、たくさんのLOVEがあふれています。
下山への想いを、みんなで形にしていましょ!

2 みんなで楽しく 未来をつくらう(共働)

住民が中心となって行う活動、行政が取り組む事業、
事業者が地域のために行うこと、
みんなで一緒に取り組むこと。
同じ方向を見て、**共働**で楽しく活動しましょう!



新しくなった
「WE LOVE しもやま」のロゴマーク
周りにある18の円は11分野と
7つの自治区を表しています。

しもやまスマイルプランって何?

しもやまスマイルプランは、「下山の10年後の将来像」を見据えて、「まちづくりの方向性」を定め、事業を実施するための「具体的な取組」をまとめた、みんなが行動するための計画です。
取組の内容は、11の分野と7つの自治区で、それぞれ検討しました。

まちづくりの方向性(10年間)

具体的な取組(5年間)

後期の取組

10年後の
将来像

下山の10年後の将来像

子どもの声が聞こえ、 笑顔で暮らせるまち しもやま



みんながめざす下山のまちづくりの方向性

下山に関わる人を増やして活力あるまちづくり

- 「定住人口」を減らさない取組にチャレンジします。
- 観光客などの「交流人口」と住民との交流の機会を積極的につくります。
- 地域活動への参加者の増加をめざして、「関係人口」を増やします。

住民主体の地域活動で持続可能なまちづくり

- 住民一人ひとりが地域の運営を考え、住民による自治活動を次代に引き継ぎます。
- まちづくりに関する地域内の団体が、そのあり方や活動内容を見直し、より適正な運営に努めます。
- 自治区と地域の関係団体、行政との連携を強化して、地域活動を活性化させます。

「安心感」と「わくわく感」が実感できるまちづくり

- 子どもからお年寄りまで、誰もが安心して生活できる環境をつくれます。
- 下山を盛り上げるために「やってみたい」ことを実現できるように、みんなで応援する機運を醸成します。
- 下山地域外からの来訪者が、親しみやすく、楽しめる環境づくりを行います。

具体的な取組

和合自治区の取組は、
裏面をご覧ください。

発行	下山地域まちづくり推進協議会	2021年3月
問合せ	電話	0565-90-2111(事務局下山支所)
	FAX	0565-90-3344
	メール	shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



和合自治区プラン

1 和合自治区の現状

人口の減少、特に子どもや若い人の減少

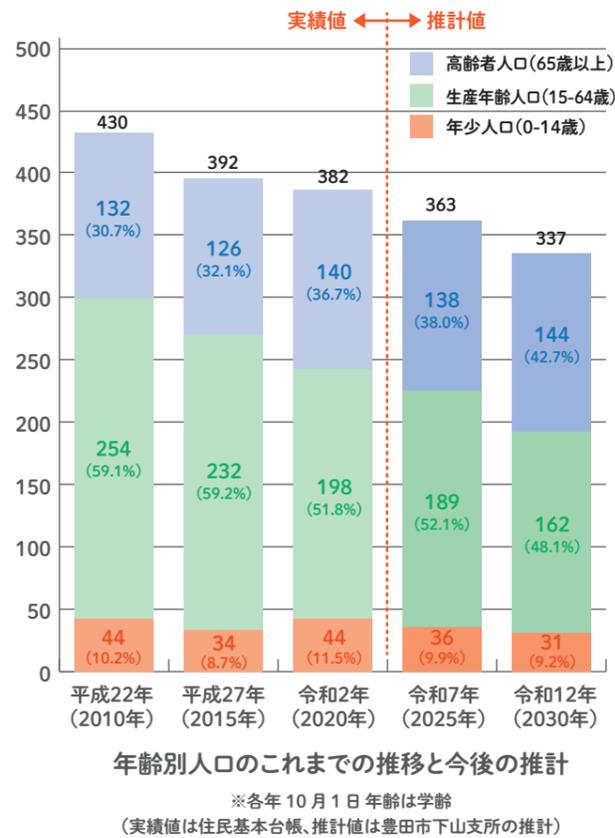
- 令和2年の人口は382人であり、この10年間で48人減少しています。15歳から64歳の生産年齢人口は大きく減少しています。
- この傾向が今後も続くと、令和12年の人口は337人とさらに減少し、特に、生産年齢人口の減少がさらに進み、高齢化率は42.7%になると予想されます。

人口減少が地域に及ぼす影響

- 住民の減少と高齢化、特に高齢者のみの世帯が増加していますが、地域のコミュニティにより、地域の運営や住民どうしの支え合いが機能しています。また、空き家や空き地は増加していますが、活用しようとする機運が高まりつつあり、移住者への提供なども行われ始めています。

2 和合自治区の10年後の将来像

- ▼ 高齢者は増加しますが、寝たきりにならず、心も体も元気よく過ごしています。
- ▼ 地域内での見守り、支え合いが負担なくほどよい距離感でできています。
- ▼ 地域の人達が、気軽に触れ合うことが出来る機会が設けられています。
- ▼ 年齢問わず、女性が活躍し、地域の運営にも参画しています。
- ▼ 地域による子育て世代の女性がのびのび活躍できるように、まどいの丘を活用した情報交換の場づくりを進めています。また、女性が働ける場所の検討や要望を行っています。
- ▼ 地震などの大きな災害が発生しても、手ぶらで速やかに避難できるような体制づくりと日頃からの気構えができています。
- ▼ 空き家・空き地の活用がしっかりとされており、移住者が増加しています。
- ▼ イベントや特産品、シンボルを通じて、地区外との交流が盛んに行われています。
- ▼ 人口が減少するなかでも自治区や組の運営を見直し、次の世代に引き継がれ、存続しています。



3 和合自治区の5年間の取組

取組1 みんな生き生きまめ(健康)になりん【健康増進】

60・70・80は働きざかり、心も体も前向きにしまいか!

取組2 お互いに見守り、チョット助けあえたら安心だらあ【助け合い】

声をかけ合い、知り合い、和み合い、助け合うまいか!

取組3 「女性が元気は、家庭も元気、地域も元気」だがん【女性活躍】

迷わず、ためらわず、自分の命は自分で守らまいか!

取組4 早めの避難が安全じゃん【防災対策】

女性が楽しく、積極的に活動できる地域にしまいか!

取組5 組・自治区を振興しまいか【自治振興】

明るく楽しく元気な地域を維持し、発展させまいか!

令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
1 みんな生き生きまめ(健康)になりん				
前向きに健康寿命を延ばすまい				
健康寿命の講演会				
家庭体操・歩き方教室				
歩け歩け大会の開催、自治区だより発行(毎年)				
ふれあいあいで「生き生き」生活 「地域ふれあいサロン」「自治区ふれあいサロン」開催、「お助け隊」の創設				
2 住民同士の支え合い体制整備				
あいさつからご近所ネットワークづくり 自治区だより「あいさつ運動」(毎年継続)				
緊急時連絡先一覧の作成				
配布と更新(毎年)				
班を中心とした「近助(近所)」の活動				
意識づけ、活動状況把握と普及活動(毎年)				
3 「女性が元気は、家庭も元気、地域も元気」だがん				
女性の視点で女性ならではの活動 女性のリーダー発掘・女性懇談会の促進・自主活動グループの育成(毎年)				
子育てと仕事が両立できる環境整備 対象女性に意見聴取と実現に向けての環境整備の計画、実行促進(毎年)				
4 早めの避難が安全じゃん				
避難場所(まどいの丘)設置の防災倉庫の管理維持 防災委員会と自治区組役員による管理維持計画と備蓄(毎年)				
防災関連資料の作成と更新				
作成・整備				
毎年更新				
班中心の「近助」の体制づくり				
体制づくり				
意識づけ、活動状況把握と普及活動(毎年)				
実際の防災訓練の計画・実行				
訓練計画作成				
住民参加の防災訓練の実施(毎年)				
5 組・自治区を振興しまいか				
定住・移住・交流促進 住み続ける取組・空き地空き家発掘・自治区紹介情報発信(毎年)				
移住者の活躍支援 (地域産品づくり、地域外との交流活動)(毎年)				
道路整備(生活道路)、農地・山地の維持管理				
もみじ街道整備、各組のシンボルづくり(神殿町さくら公園、和合の里文字) 地域運営機構の再検討 (毎年)				